

※本状は、株式会社シーエスエスと GMO イプシロン株式会社の共同プレスリリースです。
各社より重複して配信される場合がございますが、あらかじめご了承ください。

2025年12月23日

報道関係各位

株式会社シーエスエス
GMO イプシロン株式会社

【 CSS と GMO イプシロンが協業開始 】

入金管理サービス「TREE PAYMENT – 入金突合ゼロ VAce(ベース) –」を 2026年3月提供開始

～請求ごとの専用口座発行で銀行振込の突合作業を“ゼロ”にし、事務の DX を加速～

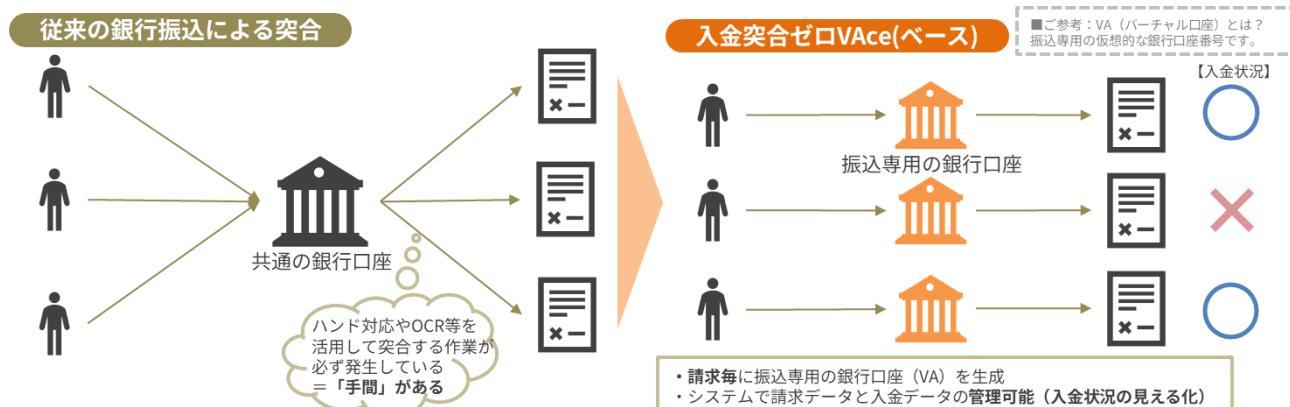
住友生命保険相互会社の 100%子会社である株式会社シーエスエス（代表取締役社長：泉 裕章、以下 CSS）と、GMO インターネットグループの GMO イプシロン株式会社^(※1)（代表取締役社長：村上 知行、以下 GMO イプシロン）は、両者の協業により、GMO イプシロンがオンライン決済インフラ「fincode byGMO」の銀行振込（バーチャル口座）機能を CSS が導入し、CSS が銀行振込による入金管理サービス「TREE PAYMENT^(※2) – 入金突合ゼロ VAce(ベース) –」を 2026 年 3 月から提供開始することを発表いたします。

(※1) GMO イプシロンは、GMO ペイメントゲートウェイ株式会社の連結会社です。

(※2) 「TREE PAYMENT」は CSS と株式会社電算システムの登録商標です。

本サービスでは、企業は請求ごとに振込専用口座（バーチャル口座）を自動で発行でき、入金状況をほぼリアルタイムに把握・管理することが可能になります。これにより、従来の銀行振込で発生していた煩雑な手作業での突合業務をゼロにし、トレース作業を含むバックオフィス業務の大幅な効率化と、入金反映までのリードタイム短縮を実現します。

<サービス導入効果のイメージ>



【協業の背景】

銀行振込は、企業間取引だけでなく、賃料・月謝・会費など多様なシーンで利用されていますが、その入金確認には依然として大きな負担が生じています。全国銀行データ通信システム（全銀システム）の仕様上、振込依頼人名は支払者側で任意に設定できるため、集金者側は不確実な情報での突合を行わざるを得ません。例えば、学習塾の月謝など、生徒と振込者名が異なるケースでは手作業が必須となり、こうした業務の負荷は常態化しています。また、紙による請求書・領収書での集金では、支払完了から入金確認まで時間を要し、事務部門の生産性低下や支払者側の不便につながっていました。

両社は、こうした課題認識を共有し、銀行振込にまつわる「見えない手間」の解消を目的に協業を開始します。

GMO イプシロンは「fincode byGMO」を通じて銀行振込（バーチャル口座）の提供と、入金消込の自動化・効率化を進めてきた実績があり、CSS は銀行振込に関する豊富な業務知見を有しています。本協業では両社の強みを掛け合わせ、より多様な事業者のバックオフィス DX を共同で推進します。

【「TREE PAYMENT – 入金突合ゼロ VAce(ベース)–」の概要】

本協業では、GMO イプシロンが提供するオンライン決済インフラ「fincode byGMO」の銀行振込（バーチャル口座）機能をエンジンとし、CSS がこれまで培ってきた業務ノウハウを活かして、加盟店の現場担当者が直感的かつシンプルに活用できる入金管理サービスを開発・提供します。

<役割分担>

CSS : 入金管理サービス「TREE PAYMENT – 入金突合ゼロ VAce(ベース)–」の開発・提供、導入支援、サポート

GMO イプシロン : オンライン決済インフラ「fincode byGMO」の銀行振込（バーチャル口座）機能の提供

<サービスコンセプト>

- ① 銀行振込で"当たり前化"している煩雑な手間を「ゼロ」にする。
- ② 督促コストを極小化する（=事務の効率化による人件費抑制）

<主な機能>

- ① 振込先口座（VA）発行：請求書・顧客ごとにユニークな口座を発行します。
- ② 入金状況の見える化：入金状況をリアルタイムで一覧表示。過不足金も一目で把握できます。
- ③ ステータス管理：検索・絞り込み機能により、顧客名・支払期限・入金状況などで絞り込み、必要な情報を即座に検索。「完了」「返金対応」「督促対応」など、対応状況が共有でき、常に Next Action が把握可能です。

【サービス提供時期について】

提供開始時期：2026年3月（予定）

*現在、上記時期でのファーストユーザー様向けサービス提供に向け、準備を進めております

*先行導入やサービス詳細にご興味のある企業様は、下記、【サービスに関するお問い合わせ先】までお問い合わせください。

【今後の展開】

本サービスにおいて、今後以下の機能拡充を予定しています。

- ① 振込専用口座（バーチャル口座）の大量発行対応
- ② 請求額と入金額が一致した場合のみ決済完了とする機能

③ API によるデータ連携 など

両社は今後も協業を通じて、企業のバックオフィス業務全体の DX を加速し、隠れた手間を省くソリューションの提供に継続して取り組んでまいります。

【各社からのコメント】

〈株式会社シーエスエス 代表取締役社長 泉 裕章〉

銀行振込は多くの企業にとって不可欠な決済手段ですが、その裏側にある『消込』という作業は、長らく企業の生産性を阻害する大きな課題でした。この度の GMO イプシロン様との協業により、「fincode byGMO」の堅牢かつ柔軟に対応が可能な決済システム基盤と弊社の業務知見を組み合わせることで、この課題を根本的に解決できると考えております。本協業を通じて、企業の決済にまつわる“ペイン”を解消し、日本のビジネス全体の成長に貢献できることを期待しております。

〈GMO イプシロン株式会社 取締役副社長 田口 一成〉

この度、CSS 様の新サービスに「fincode byGMO」をご採用いただき、大変光栄に存じます。CSS 様との協業により、両社の業務知見と技術を組み合わせることで、企業のバックオフィス業務の DX を一層推進できるものと考えております。今後も GMO イプシロンは、CSS 様のパートナーとして新しい価値創造を実現し、両社でこれまでにないユーザー体験を提供してまいります。

【「fincode byGMO」について】(URL : <https://www.fincode.jp/>)

「fincode byGMO」は、スタートアップの成長に寄り添うオンライン決済インフラです。新サービスのローンチ前後に生じる決済領域の課題を解決するだけでなく、事業フェーズの進展に伴い求められる拡張的な価値をシームレスに提供します。

「テスト環境の即時提供」「迅速な Web 審査」「開発工数を削減する SDK^(※3)・UI コンポーネント^(※4)」などにより、短いリードタイムで決済システムの実装を可能としています。また、REST API^(※5) やその他の拡張的な機能を通じて、「独自決済フローへの対応」「ユーザー拡大のための決済手段追加」「サブスクリプションプランの追加」「プラットフォーム型ビジネスモデルへの拡大」といった導入事業者の「次の一手」を支援します。

これらの機能を初期費用・月額費用無料、かつアカウント維持費用や振込手数料などの「見えづらいコスト」を最大限省いた料金体系で提供することで、導入事業者のコスト管理の負担を軽減し、自社サービスの成長に集中できる環境を提供します。

そして、拡張性に配慮した設計思想をベースに、AI 時代の UX 進化に合わせ「MCP(Model Context Protocol)」に対応し、AI エージェントと決済の融合による新たなユーザー体験を牽引しています。

(※3) Software Development Kit の略。「fincode byGMO」では API 組み込みを容易にするライブラリを提供しています。

(※4) クレジットカード情報の入力フォームを生成、提供する機能。

(※5) Representational State Transfer API の略。「fincode byGMO」ではリソース指向で理解が容易な REST API を通じて決済やサブスクリプションなどのデータを操作できます。

【株式会社シーエスエスについて】

CSS は、1976 年の設立以来、口座振替・代金回収・集金代行サービスを中心とする収納代行専門企業として、保険・医療・介護・教育など多様な業界にサービスを提供しています。住友生命保険相互会社の 100% 子会社として、高い信頼性と安定した基盤のもと、全国 5,100 団体を超えるお客様とお取引をいただいており、年間 5,500 万件以上の口座振替を安全・確実に実行処理しています^(※6)。また、2021 年からは、マルチ決済を実現する TREE PAYMENT や口座設定がネットで完結するインターネット口座受付サービスといった、DX に資する新たなサービスも展開しています。

長年にわたり口座振替等のサービスで培った信頼と業務ノウハウを基盤に、お客様の"見えない手間を解決する"/"社会課題を解決する"ために多様な選択肢と共に創の力で、ソリューションを提供し続けます。今後もパートナー企業様との「共創」を通じて決済領域の DX を推進し、お客様と共に明るい未来を切り拓いてまいります。

(※6) 2024 年度実績

【GMO イプシロン株式会社について】

スタートアップ、テック企業、SME 領域の事業者に、オンライン決済サービス「fincode byGMO」「Epsilon byGMO」やビジネスの成長を支援するサービスを提供しています。

「fincode byGMO」はスタートアップ向けに設計されたオンライン決済インフラです。E コマースに加え、プラットフォーム型やサブスクリプション型などさまざまなビジネスモデルに対応し、短期間での導入を実現します。2025 年 6 月には、国内 PSP として初めて「MCP (Model Context Protocol)」に対応します^(※7)、AI エージェントとの連携も可能にするなど、進化を続けています。「Epsilon byGMO」は、初期費用・トランザクション処理料^(※8)無料で、多様な決済手段を一括導入できる決済代行サービスです。個別契約の手間を省き、EC 事業者の販売機会拡大を支援します。

そして、売上運動型ビジネスカード「Cycle byGMO」、レンディングや送金サービスなどの金融関連サービスを通じて、事業者のキャッシュフロー改善と成長支援を行っています。

GMO イプシロンは、東証プライム上場 GMO ペイメントゲートウェイの連結会社として、プライバシーマーク認証や PCI DSS、ISMS 準拠のセキュリティ基準で安心してご利用いただける環境を提供しています。

(※7) 2025 年 6 月 19 日発表「国内 PSP 初、「fincode byGMO」が MCP 対応、AI 時代における最適な決済プラットフォームへ」

(URL : <https://www.gmo-pg.com/news/press/gmo-paymentgateway/2025/0619.html>)

(※8) トランザクション処理料とは、クレジットカードのオーソリゼーション（承認番号取得）や請求などでクレジットカード会社の通信ごとにかかる料金。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●株式会社シーエスエス 企画部

TEL: 06-4708-4380

お問い合わせ :

planning-dept@css-sumisei.com

【サービスに関するお問い合わせ先】

●GMO イプシロン株式会社

「fincode byGMO」サポートチーム

お問い合わせフォーム :

<https://form.fincode.jp/contact>

●GMO ペイメントゲートウェイ株式会社

企業価値創造戦略統括本部 広報部

TEL : 03-3464-0182

お問い合わせ :

<https://contact.gmo-pg.com/m?f=767>

●GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 新野

TEL : 03-5456-2695

お問い合わせ :

<https://group.gmo/contact/press-inquiries/>

【株式会社シーエスエス】(URL : <https://www.css-osaka.com/>)

会 社 名	株式会社シーエスエス
所 在 地	大阪府大阪市中央区備後町 3 丁目 6 番 2 号
代 表 者	代表取締役社長 泉 裕章
事 業 内 容	■収納代理業務および付帯する関連業務
資 本 金	10 百万円

【GMO イプシロン株式会社】(URL : <https://www.epsilon.jp/>)

会 社 名	GMO イプシロン株式会社
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 14 番 6 号 ヒューマックス渋谷ビル
代 表 者	代表取締役社長 村上 知行
事 業 内 容	■オンライン販売の決済代行、代金回収代行及びそれらに付帯する業務
資 本 金	1 億 5 百万円

【GMOペイメントゲートウェイ株式会社】(URL : <https://www.gmo-pg.com/>)

会 社 名	GMOペイメントゲートウェイ株式会社 (東証プライム市場 証券コード:3769)
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 2 番 3 号 渋谷フクラス
代 表 者	代表取締役社長 相浦 一成
事 業 内 容	■総合的な決済関連サービス及び金融関連サービス
資 本 金	133 億 23 百万円

【GMOインターネットグループ株式会社】(URL : <https://group.gmo/>)

会 社 名	GMOインターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード:9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社 (グループ経営機能) ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2025 GMO Epsilon, Inc. All Rights Reserved.